



プレスリリース [令和8年1月10日]

(計 1 枚)

山中温泉医王寺での左義長について

山中温泉の医王寺において行われる左義長は、鎮火祭行事として約2百年前から始まり地域行事として今もなお引き継がれています。この全国的にも珍しい左義長を下記のとおり執り行います。

記

1 日 時 令和8年1月18日（日）13時00分（火入れ）

2 場 所 加賀市山中温泉薬師町1番地 医王寺境内

3 焼納物 正月飾り、しめ飾り、門松、書初めなど

<参考>

櫓の飾り物には、杓子・扇子・猿子があり、杓子は青竹の先端に三本飾られています。この杓子を手に入れると、その一家は無病息災・除災招福になるとされています。扇子は三十三本が放射状に飾られており、仏の功德の数を表すとともに、扇子がもつ末広がりの方に、家内安全や町内繁栄を願う心が込められています。猿子は、扇子の輪飾りの両端に赤色の猿子二個がつるされており、除災の意味を持ちます。特に赤色は火除けを象徴し、猿は「去る」に通じることから、町内安全や火災消除を祈願するものとされています。これらの飾り付けは、山中温泉の消防団が古くから担ってきたものであり、その伝統は次世代へと受け継がれています。この左義長では、櫓を中心に町内各戸から持ち寄られた焼納物で囲み、護摩焚きの炎によって行事が始まります。櫓が燃え倒れた方角に災いが起こるといわれており、1年の安全を願う行事として、意義深いものです。

本件へのお問合せ先
加賀市消防署山中分署 担当：辻、畑 TEL 0761-78-0119